

国家公務員を目指すみなさんへ

この度は、青森地方検察庁のホームページを御覧いただきありがとうございます。

青森地方検察庁では、「働きやすい職場環境の醸成」を庁務運営目標の一つに掲げていますが、青森地方検察庁の執務環境を知っていただくため、当庁若手職員から、青森地方検察庁に入庁した経緯や入庁後の状況などを紹介させていただきます。

検察庁の業務に興味を持たれた方は、是非、業務説明会等にご参加願います。

令和4年4月採用 高卒程度試験 20代 Aさん

現在の仕事を教えてください

支部で、立会事務官をしています。検察官とペアになって仕事をし、取調に同席して調書を作成したり、配点された各種事件に関する書類の作成などが主な業務になります。実際に現場に赴いて、現場の状況を写真撮影する見分に立ち会うこともあります。

検察庁で働くことについて不安はありませんでしたか？

私は大学に行ってやりたいことが明確に思い浮かばず、その状態で大学に行き、時間を無駄にするよりも働きたいと思ったので、特に不安はありませんでした。

検察庁を選んだ理由を教えてください

進路がなかなか決まらず、来年また試験を受けようと思っていた時に採用面接の電話をもらいました。当時、検察庁がどういう場所か全く知りませんでした。知らないところにあえて飛び込むのも楽しそうだと思います。

仕事のやりがいを教えてください

ゼロから仕事を覚えていかなければいけない状態で、上司や先輩の方から聞いたことのメモを取ったり、資料を確認したりしながら業務を進めて回数を重ねていく上で、ひとつひとつメモを確認しなくても一連の作業を終えたときにやりがいを感じます。

仕事をする上で大切にしていることを教えてください

常に期限を意識することです。学生時代の課題などの期限とは違って、他機関とやり取りすることや、中には人権に関わる部分も出てくるので、予定表に書き込んだり、ふせんに書いて、常に自分の目に触れるようにして、期限を意識するようにしています。

学生時代はどんなことに打ち込んでいましたか？

高校時代は書道部に所属していたので、様々な展覧会などもありましたが、毎年文化祭で行う書道パフォーマンスを楽しみに部活動をしていました。

休日はどうのように過ごしていますか？

推しのyoutubeやDVD鑑賞をしています。休日は仕事のことは全く考えずに過ごしています。たまに、外に一步も出ない日もあります。

今後、どのような検察庁職員になりたいですか？

上司や先輩方のように、書類や資料を点検していて内容の間違いに自然と気づき、その根拠を見つけるときも、すらすらと六法をひいたり、教材を開けるような知識が備わった人になりたいと思っています。



令和6年4月採用 高卒程度試験 10代 Bさん

現在の仕事を教えてください

支部で検務第一担当をしています。警察から送致される刑事事件の受理や処理、令状の請求や執行の手続などを行っています。警察の方や裁判所の方などの関係者と連絡を取り合うこともあります。現在の仕事では、法律の知識などを実際に仕事をしながら学ぶことができます。

検察庁で働くことについて不安はありませんでしたか？

まず、働くということに対して不安がありました。また、法律等の知識が無かったので、仕事が出来るか不安でした。ですが、採用後に東北6県の新規採用者を集めての研修があり、そこで検察庁の仕事の内容や必要な法律について学ぶことができたため、不安はなくなりました。

検察庁を選んだ理由を教えてください

正直なところ、業務説明会に参加するまでは検察庁がどんな仕事をしているのか知りませんでした。説明会の内容や自分で調べてみて、他の公務員ではできないような捜査や公判に携わることができるというところに魅力を感じて検察庁を志望しました。

仕事のやりがいを教えてください

自分の仕事を最後までミス無く進めることができたときや、少しでも関わった事件を新聞やニュースで見たときにやりがいを感じています。検察庁の仕事は責任重大な仕事が多いですが、その分自分でやり遂げることが出来たときの達成感も大きいです。

仕事をする上で大切にしていることを教えてください

仕事を進めていく上で分からないことが出てきたときは、上司の方々に聞くことです。また、メモを取ったり、時間に余裕があるときに、質問したことがなぜそのようになるのか法律を調べたりもしています。

学生時代はどんなことに打ち込んでいましたか？

学生時代には、検定の取得に力を入れていました。特にエクセルや漢字などの検定の勉強をしていました。

休日はどうのように過ごしていますか？

休日は高校の部活動に顔を出したり、youtubeを見たり、ゲームをしたいなど、趣味を満喫しています。休日は、できるだけ仕事のことを考えず、心身ともにリラックスしています。

今後、どのような検察庁職員になりたいですか？

書類の点検の時に間違いをすぐ見つけられたり、その後の流れのことも考えて、優先的にやる仕事かそうでないかの区別をすぐできるようになりたいです。また、制度のことについて詳しく説明できる知識を備えた検察庁職員になりたいです。



令和6年4月採用 高卒程度試験 10代 Cさん

現在の仕事を教えてください

企画調査課で、職員が受講する研修の準備、その研修に関する旅費や出張計画の作成などを行っています。また、事件に関する統計の点検作業など、様々な仕事をしています。

検察庁で働くことについて不安はありませんでしたか？

高校を卒業したら就職しようと思っていたので、働くことについての不安はあまりありませんでした。また、検察庁で働くことについては、法律についての知識がなかったため仕事についていけるか心配でしたが、採用後すぐに、1ヶ月間の新規採用者の研修があり、そこで検察庁の業務や法律について学ぶことができたため、安心して業務に取り組むことができました。

検察庁を選んだ理由を教えてください

正直なところ、検察庁について、採用面接の電話をもらうまでは全く知りませんでした。面接官のお話を聞いて、検察庁の業務内容を知り、他の公務員にはできない様々な内容の仕事を経験できることに魅力を感じて、検察庁で仕事をしてみたいと思い、検察庁を選択しました。

仕事のやりがいを教えてください

ミスなく自分の業務を終えたときに一番やりがいを感じます。今の仕事は、立会事務官のように事件に直接関係するのではなく、職員を支えるような役割の仕事が多いですが、どんな仕事でも、自分で最後までやり遂げたという達成感が一番のやりがいだと感じます。

仕事をする上で大切にしていることを教えてください

自分でも確認すること、メモを取ることを仕事をする上で大切にしています。大小関係なく、どんな業務においても、この2つのことが当たり前のように、意識して取り組んでいます。

学生時代はどんなことに打ち込んでいましたか？

学生時代は、検定の取得に力を入れていました。もともと就職する方向で考えていたので、就職に有利になるような情報処理や簿記等の検定の勉強をしていました。

休日はどうのように過ごしていますか？

友人と遊びに行ったり、趣味のギターを弾いたりしています。特に予定のない日は、1日中家でゆっくりしていることが多いです。

今後、どのような検察庁職員になりたいですか？

上司の方々のように、自分自身で考えて動き、自分の業務はもちろん、他の業務まで手伝えるような事務官になりたいです。

